

サステナブル公共調達（SPP）の国際的な動向

参考資料 1

サステナブル公共調達（SPP）の国際的枠組み

2002年 持続可能な開発に関する世界首脳会議（ヨハネスブルグサミット）

「ヨハネスブルグ実施計画」において、全ての政府に消費と生産の持続不可能なパターンを変えることが求められた。

2005～2011年 「サステナブル公共調達のマラケシュ・タスクフォース」

SCPに関する10年の枠組みを開発するための国際協力の取り組みである「マラケシュ・プロセス」のタスクフォースの一つとして、スイス政府の主導で実施された。

2012年

リオ+20にて「持続可能な消費と生産に関する10年計画枠組み（10YFP）」が採択され、サステナブル公共調達（SPP）が優先プログラムに認定された。

2012～2013年 「サステナブル公共調達イニシアチブ（SPPI）」

主要なステークホルダー間の協力を図り、サステナブル公共調達（SPP）の潜在的な利益と影響を理解することで、SPPの世界的な実施を目指した。

2014年～ 「持続可能な消費と生産に関する10年計画枠組みのサステナブル公共調達プログラム（10YFP SPP Programme）」

SPPの知見を広げ、専門家の支援と能力開発の機会を増やすことでSPPの実施を支援する

2015年 「持続可能な開発目標（SDGs）」

持続可能な開発のための2030アジェンダに含まれる「持続可能な開発目標（SDGs）」の一つとして「持続可能な消費と生産パターンの確保」が掲げられている。

持続可能な消費と生産（SCP）に関する国際動向

10YFPプログラム

◆消費者情報（CIP）

- ✓ **GPNがマルチステークホルダーコミッティー（MAC）メンバーとして参加**
- ✓ 2014年7月始動

◆持続可能なライフスタイルと教育（SLE）

- ✓ **日本が共同リード機関として参画**

◆サステナブル公共調達（SPP）

- ✓ **IGPNがMACメンバーとして参加**
- ✓ 2014年4月始動
- ✓ MACメンバーの更新（任期は2015年4月～2017年3月）

◆サステナブル建築・建設（SBC）

- ✓ 2015年4月始動
- ✓ 2014年11月始動

◆サステナブルツーリズム（STP）

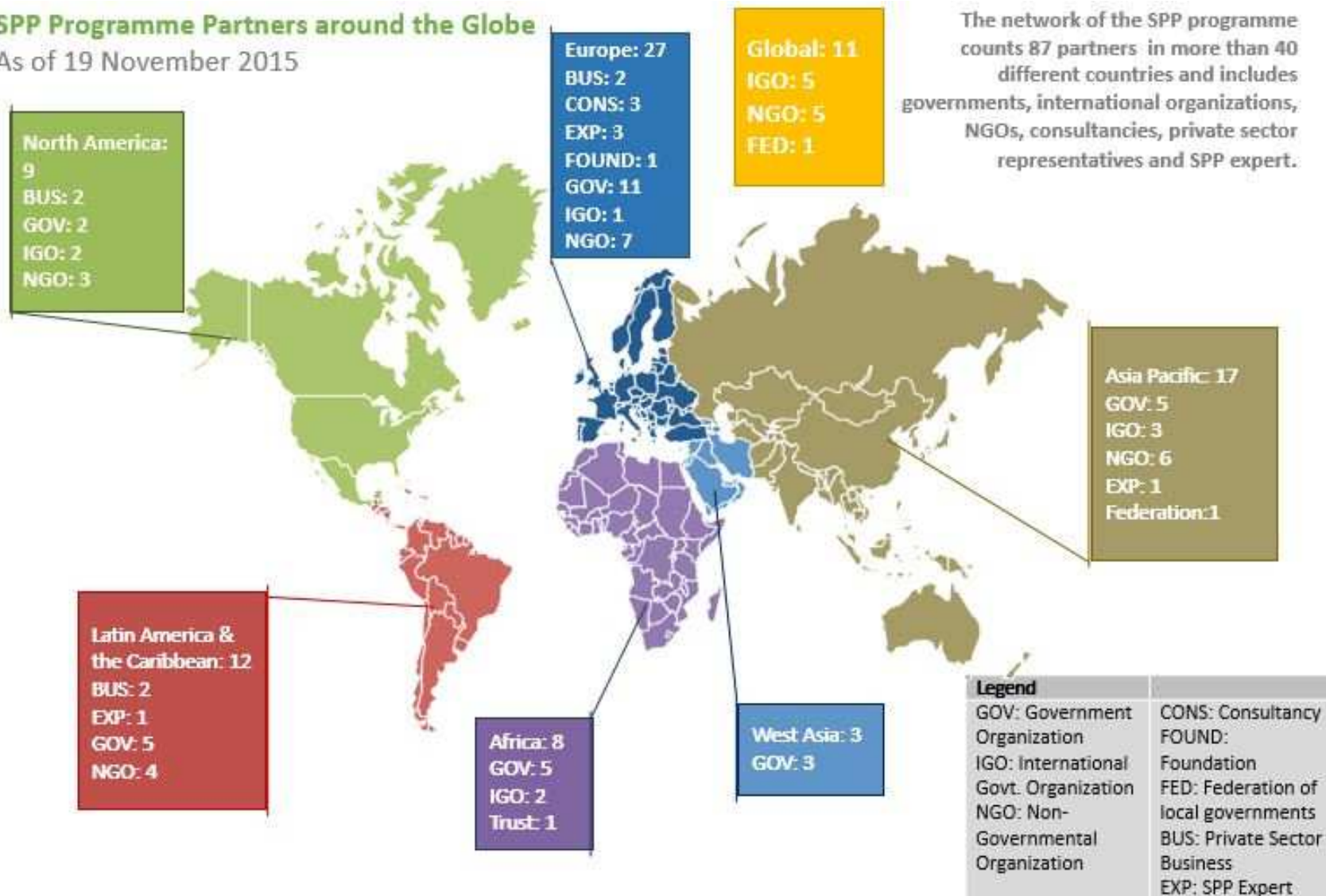
- ✓ 2014年11月始動

◆サステナブルフードシステム（SFSP）

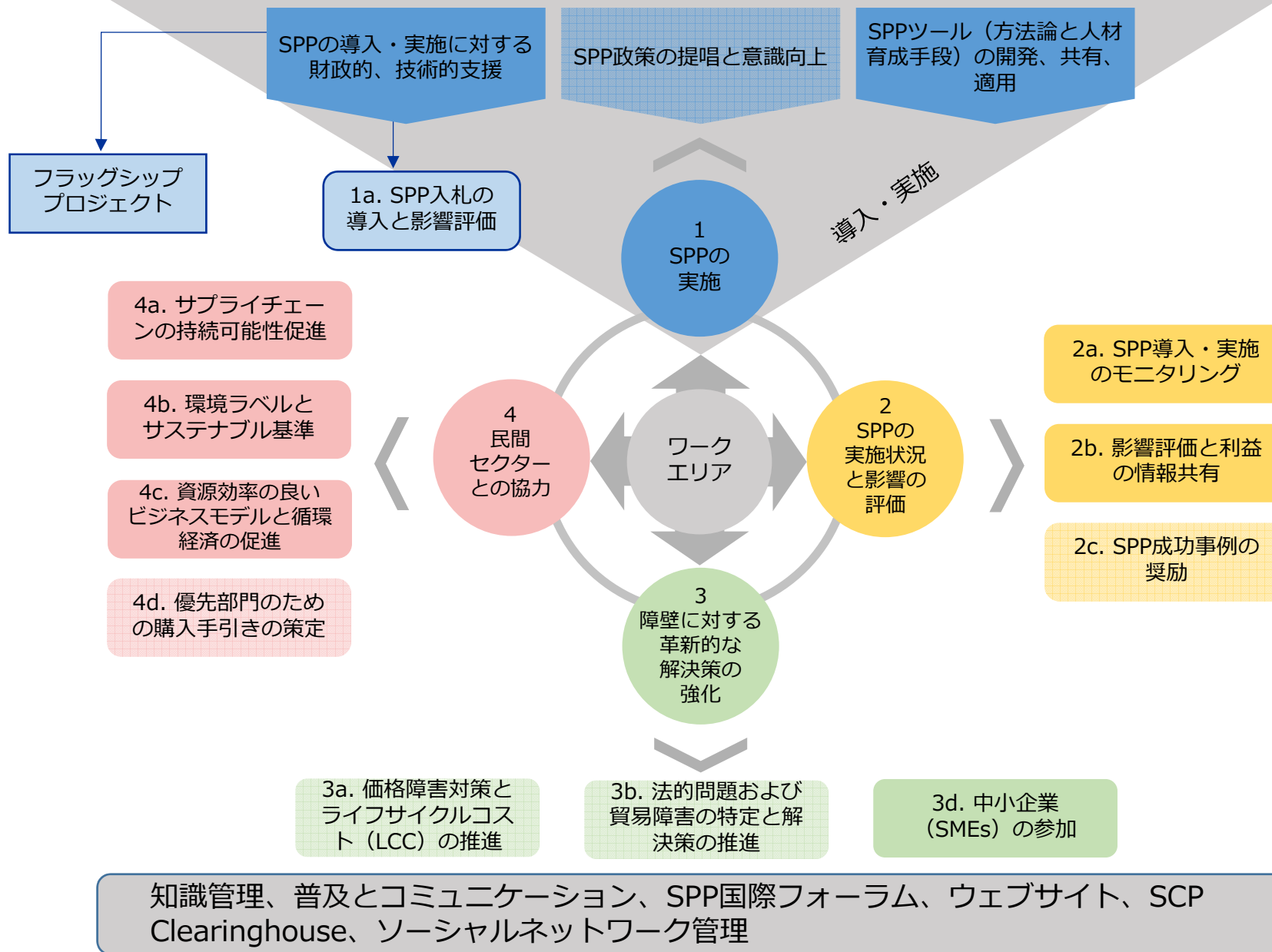
- ✓ 始動に向け準備中

持続可能な公共調達（SPP）プログラムの参加団体

SPP Programme Partners around the Globe
As of 19 November 2015



10YFP SPPプログラム 2ヶ年計画 2016-2017



持続可能な消費と生産（SCP）に関する国際動向

Asia-Pacific GPPEL Network

（2015年6月にASEAN+3 GPPEL Networkから名称変更）

- GPN、IGPN、エコマークがアドバイザリーコミッティー（AC）メンバーとして参加

プロジェクトの目的

1. 日中韓の知見を基に、ASEAN地域のSPPと環境ラベルを強化する。
2. アフリカの環境ラベル等との南南協力を強化する。
3. 10YFPの活動として、ASEAN+3の国々の幅広い参画を促す。

主な活動計画

- SPPと環境ラベルの専門家、政策立案者、組織のネットワークを構築し、年次会合を開催する。
- キャパシティビルディング計画を通じてGPPと環境ラベルの知識伝達を行う。
- 研修ワークショップを2015年12月にマレーシアで開催
- ウェビナーを実施し、メンバーの活動報告と協同促進を行う。
- 2015年8月26日に第2回ウェビナーを開催
- 10YFPのSPPプログラムおよび消費者情報プログラムと協力する。

